



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



手ごろな価格のクリーン・ エネルギーの普及は なぜ大切か

目標の内容は何ですか。

手ごろな価格で、信頼できる持続可能な現代的エネルギーをすべての人が利用できるようにすることです。

なぜ、この目標が設定されたのですか。

私たちの日常生活は、信頼できる手ごろな価格のエネルギーによるサービスが、円滑に機能し、公平に発展することに依存しているからです。

エネルギー・システムをしっかりと確立すれば、ビジネス、医療、教育から農業、インフラ、通信、先

端技術に至るまで、あらゆる部門を支えることができます。逆に、エネルギーの供給・変換システムを利用できなければ、人間開発と経済発展の障害となります。

私は電力を利用できています。この目標になぜ関心を持たねばならないのですか。

これまで数十年間、主として石炭や石油、ガスといった化石燃料を用いた発電が行われてきましたが、炭素燃料を燃やせば、大量の温室効果ガスが発生し、気候変動を引き起こしたり、人間の福祉と環境に悪影響を与えたりすることになります。その影響はごく一部ではなく、すべての人々に及

エネルギーは
気候変動を助
長する最大の
要因であり、
世界の温室効
果ガス排出量
の約 **60%**を
占めています。

びます。しかも、世界の電力使用量は急増しています。結局のところ、安定した電力供給がない国は、経済を牽引することもできないのです。

電力のない生活を送っている人々はどれだけいるのですか。

世界人口の5人に1人にあたる12億人以上が、電力を利用できていません。その大半は、アフリカとアジアの十数カ国に集中しています。

電気がなければ、女性や女兒は何時間もかけて水を汲みに行かねばならず、診療所は子ども用のワクチンを保管できず、多くの生徒は暗くなってから宿題をすることができず、人々は競争力のある事業を営むことができません。また、28億人が調理や暖房用に薪や木炭、糞、石炭を用いており、それによる屋内の空気の汚染によって、400万人以上が早死しています。

より持続可能なエネルギーに移行するためには、どれだけのコストがかかりますか。

世界は、持続可能なエネルギー・インフラへの年間投資を、現在の約4,000億ドルから2030年までに1兆2,500億ドルへと、3倍に増やす必要があります。

エネルギー不足が最も深刻なサハラ以南アフリカと南アジアの2地域は、エネルギーの普及に私たちの支援を必要としています。そ

のためには、健康に害を及ぼす従来型のコンロに代わる、クリーンで効率性のよいコンロを手ごろな価格で提供するための取り組みも、さらに強化しなければなりません。

こうした問題を解決するため、私たちには何ができるのですか。

各国は、再生可能なエネルギー源に投資し、省エネの実践を優先課題とし、クリーン・エネルギーの技術とインフラを採用することにより、手ごろで信頼できる持続可能なエネルギー・システムへの移行を加速できます。

企業は、水力発電源とバイオエネルギーの利用と一層の開発を可能にするため、生態系を維持、保護するとともに、業務上の電力ニーズをすべて再生可能エネルギーで賄うことができます。

雇用主は、通信を優先することで自社の交通需要を減少するとともに、自動車や飛行機よりもエネルギー集約度が低い列車などの交通手段の利用を推奨することができます。

投資家は、多様なサプライヤー基盤が新たな技術を迅速に市場にもたらすことができるよう、持続可能なエネルギー・サービスへの投資を増額することができます。

あなたは、コンピューターを含め、電気機器を電源タップに差し込んで、使っていない時には完全に電源を切ることで、電力を節約できます。また、自転車に乗ったり、歩いたり、公共交通手段を利用したりすることで、炭素排出量を削減することもできます。

目標7をはじめ、持続可能な開発目標についてさらに詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

日本語訳：国連広報センター

